

# 地方公共団体の取組事例

## 山梨県

### 「青少年のインターネットの適切な利用に向けた取組」

#### 〈県の取組〉

##### 1 オンラインゲームの課金トラブルに対するWeb広告の実施（R4年7月中旬～9月中旬）

若年層に向け、YouTubeの6秒動画広告を活用し、オンラインゲームの高額課金トラブルに対する注意喚起とトラブルに巻き込まれた際の相談先の周知を実施。

##### 2 出前講座による啓発活動（通年）

講師を派遣又はオンライン形式により、ゲーム・ネット依存に係る正しい知識の普及啓発及びインターネットの適切な利用やトラブルを未然に防ぐための出前講座を実施。

#### 〈県教育委員会の取組〉

##### 1 青少年保護育成条例の一部改正（令和2年7月1日施行）

自撮り被害を防止するため、児童ポルノ等を要求する行為を禁止し、不当な要求行為に対しては罰則を規定。また、フィルタリングサービスや有効化措置を積極的に行うため、保護者・事業者等に対する義務を規定。

##### 2 フィルタリング利用啓発ポスター

青少年を取り巻く環境整備の一環として、ヴァンフォーレ甲府の御協力のもと、スマートフォン等のフィルタリング利用を呼びかけるポスターを作成し、各学校や携帯電話事業者、販売店等に配付して啓発。

##### 3 ネット・ゲーム依存対策シンポジウム（令和3年3月）

コロナ禍における増加するネット・ゲーム依存への対応と情報モラル教育の充実のため、医療・教育・支援団体・携帯電話事業者・行政が連携して開催し、対応策と支援策を創出するためシンポジウムを開催。

##### 4 ほっと！ネットセミナー

インターネットに係る課題への対応と情報モラル教育推進のため、低年齢層（2～12歳）の子どもをもつ保護者及び小学校高学年児童を対象にセミナーを実施。また、携帯電話事業者や県警とも連携し、それぞれの特徴を生かした内容で協働。

##### 5 『活用型情報モラル教材「GIGAワークブックやまなし」』

LINEみらい財団及び関係所属が連携して作成。小学校低学年版・高学年版、中学校版、高校版を作成し、発達段階に応じた情報モラル教育を推進。



#### 〈県警察本部の取組〉

##### 1 インターネット利用に起因する非行及び犯罪被害防止対策

小・中・高等学校の児童生徒及び教職員に対し、インターネット利用に起因する非行及び犯罪被害の実態や被害者となる危険性、フィルタリングの利用等についての啓発活動を行うとともに、児童・生徒に対する非行防止教室を実施。

##### 2 SNSに起因する性被害防止のための広報啓発活動

サイバーパトロール活動において、SNS (Twitter) 上で児童の性被害につながるおそれのある不適切な書き込みを発見した際、対象となる書き込みに対して注意喚起に資するメッセージを投稿の上、広報啓発ポスターを貼付して広報啓発活動を実施。